

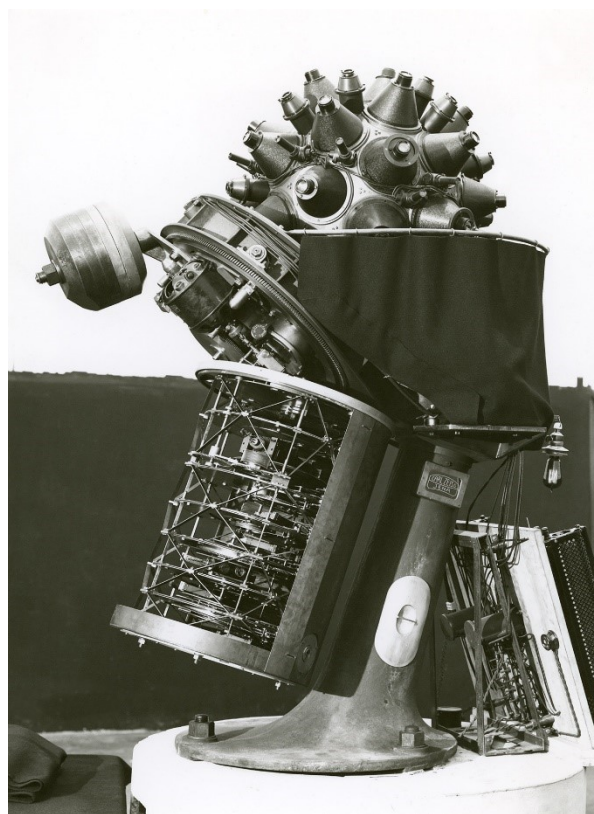


せいたん プラネタリウム生誕100年

2023年10月21日は、近代的なプラネタリウムが公開されて100年目の記念日にあたっています。ドームスクリーンに夜空や宇宙を投影するプラネタリウムは、20世紀の初めころから考えられていましたが、様々な技術的な困難を乗り越えて最初の公開に漕ぎつけたのが1923年のドイツでのことでした。最初の機械はいろいろ欠点もあったので、改良が加えられ、完成を見たのは2年後の1925年（大正14年）のことです。

完成したプラネタリウムの星空は、人々に強烈な印象を与え、またたく間に世界中に広がります。日本（大阪）に最初にやってきたのは、発明からわずか14年後の1937年のことです。翌1938年には東京・有楽町にもプラネタリウムが出来ましたが、この機械は1945年には戦争による空襲で焼失してしまいました。

足立区にプラネタリウムがやって来たのは、今から49年前、1974年のことです。竹ノ塚にできた教育センターの4階にドーム直径15mのプラネタリウムが開館し、連日大変な人気を博したと伝わっています。1994年にはギャラクシティに最新鋭の傾斜ドーム型プラネタリウムが設置され、同時に70mmフィルムの全天周映画も併設されました。その後、フルデジタルのプラネタリウムへと世代交代し、現在に至っています。



世界で初めて公開されたプラネタリウム
（この写真は完成前に撮影されたものです。）
Zeiss Model I Credit :Zeiss Archive